

日本音楽療法学会誌

JAPANESE JOURNAL OF MUSIC THERAPY

Vol.17 / No.2 2017

■追悼		
日野原重明先生をしのぶ	村井 靖児	65
■特集 第15回世界音楽療法大会		
◆特集によせて	二俣 泉	66
◆総括 世界音楽療法大会を終えて 大会長からの報告	加藤美知子	68
◆プレセミナー報告 プレセミナーの企画・運営を担当して	藤本 禮子	71
◆スポットライトセッション報告		
音楽療法とトラウマワーク	堀 早苗	75
音楽療法における音楽と文化的文脈 (Music in Music Therapy and the Cultural Context) —「どのような文化が」の視点から「どのように文化を」の視点へ—	生野 里花	79
◆シンポジウム報告		
非医療現場における神経学的音楽療法技法の臨床応用 Clinical Applications of Neurologic Music Therapy Techniques in Non-medical Settings	糟谷 由香	84
精神科入院患者を対象とした集団歌唱の魅力と治療効果 The merit and therapeutic effect of group singing for psychiatric inpatients	今村ゆかり	88
生命の終焉に寄り添った音楽	長島 律子	90
シンポジウムを終えて—音楽を取り入れた統合失調症の認知リハビリテーションプログラムの開発— Development of a music NEAR therapy program for Schizophrenia	押山 千秋	92
医療現場で音楽療法を実践して見えてきた課題と展望 —医療従事者の意識、理解、実践上の問題点をどのように解決しているか—	内島みのり・佐藤 慶如・花岡 利恵・小橋 昌樹・Suzanne G. Hanser・佐治 順子	95
医療における音楽療法：過去、現在、未来 MEDICAL MUSIC THERAPY: PAST, PRESENT, AND FUTURE	井上 聡子	97
◆ラウンドテーブル報告		
アジア諸国における音楽療法の実践—多文化で研鑽を積んだ音楽療法士の視点から—	大前 暁	100
日本音楽療法学会「音楽療法地域プラン」一様々に展開されている現場からの報告—	藤本 禮子	103
音楽療法の実践と研究を考えましょう	山崎 郁子	106
臨床の知—音楽療法実践におけるプロセスの内容を知ることと伝えること— その1 プロセスを考えるとということ その2 具体的なアプローチ	生野 里花・三宅 博子	107
Global Equivalency Certificate for Music Therapists Part II: Professional Identity and Competencies 音楽療法士の世界共通資格について パート2: 職業的アイデンティティとコンピテンシー	岡崎 香奈	115
コミュニティ音楽療法における社会包摂と排除—日本の事例を通して考える—	嶋田 久美	118
終末期の音楽療法のありかた—日本の例を通して会場の参加者たちと体験しながら考える—	新倉 晶子	121
■第10回プロジェクト研究論文		
臨床音楽学研究試論: 「音遊びの会」の事例を通して	沼田 里衣	124
■原 著		
精神科即興音楽療法における打楽器の臨床的役割とその意義	石原 興子	140
■第15回 世界音楽療法大会印象記		
第15回 世界音楽療法大会印象記	渡邊 惠里	151
第15回 世界音楽療法大会印象記	三崎めぐみ	153
■書 評		
「音楽心理療法の力動〜転移と逆転移をめぐって〜」	猪狩 裕史	154
■追悼		
「先生、ありがとうございます！」	湯川れい子	158
日野原重明先生を偲ぶ	村林 信行	159
日野原重明先生を悼む	土野 研治	160
博士論文要約募集のお知らせ		161
会 則		162
役 員		164
投稿規定		165
著作権の取り扱い「日本音楽療法学会への譲渡」		166
編集後記		167